

子育て支援から始まる新町政

# 学校給食費無償化

## 3月 定例会

第1回定例会を3月4日～3月17日に開催しました。町政執行方針、教育行政執行方針のあと、4名の議員による一般質問の後に条例改正や補正予算等の審議が行われ、全て原案のとおり可決しました。



▲4月8日に行われた和寒小学校入学式 新入生は11名

### 祝金変更内容 (波線箇所)

- 喜寿(77歳)祝金 商品券1万円分  
⇒現金1万円+商品券1万円分の計2万円
- 米寿(88歳)祝金 現金2万円  
⇒現金2万円+商品券1万円分の計3万円

※百寿(100歳)祝金は現金5万円から変更ありません。

喜寿(77歳)と米寿(88歳)の祝金等の額を増額します。

これの大樹祝金  
(279万円)

子育て支援の一環として、家庭の経済的負担を軽減するとともに、入学を祝福し子どもの健全な育成を目的に、小中学校等に入学する子ども1人につき2万円を贈呈する新たな制度を設けました。

小中学校入学祝金  
(62万円)



▲給食の準備をする様子

国が行う「学校給食費の負担軽減」制度を拡充し、小中学校の児童生徒の給食費を全額支援することで、物価高騰が続ぎ家計負担が増えている保護者の負担軽減を図ります。  
小学校児童分は国と道の支援額を上回る部分、中学校生徒分は給食費全額を支援します。

学校給食費無償化  
(1236万円)

**エコロジー利用料金改正  
賛成6名 反対2名**

物価高の影響で、寝具借上り  
げ料や燃料費等の管理経費上昇  
から一般料金を増額します。

令和8年10月1日から料金改正		
	時間使用 (4時間以内)	宿泊料金 (1泊あたり)
町内	5,100円	12,000円
一般	6,400円 ※改正前5,100円	15,000円 ※改正前12,000円

※「町内」とは、利用者・宿泊者全員が町内に住所を有する個人のことをいいます

**Q** 「利用者全員が町内に住所を有する」は、どう確認するのか。

**A** 受付で宿泊者台帳に署名する際に書面で確認する。  
虚偽があった場合の対応は今後検討する。

## 討論

**反対**



遠山議員

町外の方にも広く利用してほしいのに、町外の方の料金を高く設定するのは目的から外れる。

**反対**



池澤議員

町民には物価高対策等の他制度で優遇しているのに、町外からの人を呼び込むことが重要では。

**賛成**



窪田議員

改正後の施行まで協議の余地があり、物価高と町民還元の思いは真摯に受け止めるべき。

**賛成**



村岡議員

全員が町民ではなく、1人でも町外の方がいたら一般料金にすることに異論はない。

**賛成**



酒向議員

業者が長期滞在して町民が利用できる問題もあり、改善を図る上でも差は付けるべき。

**わっさむくらし応援給付金  
(5553万円)**

物価高の影響により、日常生活における家計費の増大で苦慮されている町民への生活支援と、低迷する町内経済循環の促進を図るため、全町民を対象に1人2万円を現金給付します。  
4月下旬から各戸に申請書が郵送されています。

**プレミアム応援券  
(2667万円)**

物価高などで落ち込んだ町内経済の早期回復と地域経済の活性化に町民等みんなを取り組み元気を取り戻すため、プレミアム応援券を発行します。

プレミアム率30%の6500円で、販売は8月31日から予定し、町から世帯主へ引換券が郵送されます。

**町立診療所 医師1名へ  
診療科目見直し**

平成8年から30年間、町立和寒病院、和寒町立診療所の院長としてご尽力いただいた山下昇

史院長の退職に伴い、4月から安孫子所長の医師1名体制となります。

診療科目は、麻酔科とリハビリテーション科を廃止し、内科・小児科・外科の三科に改め、土曜日、水曜日午後を休診にするなど診療体制が変わります。

毎月の診療予定は診療所ホームページでご確認ください。

## 意見書

生産現場に寄り添った農業政策を求める意見書

提出者 村岡 敏一

意見書は可決し、関係行政省庁に提出しました。  
詳細は町ホームページをご覧ください。

